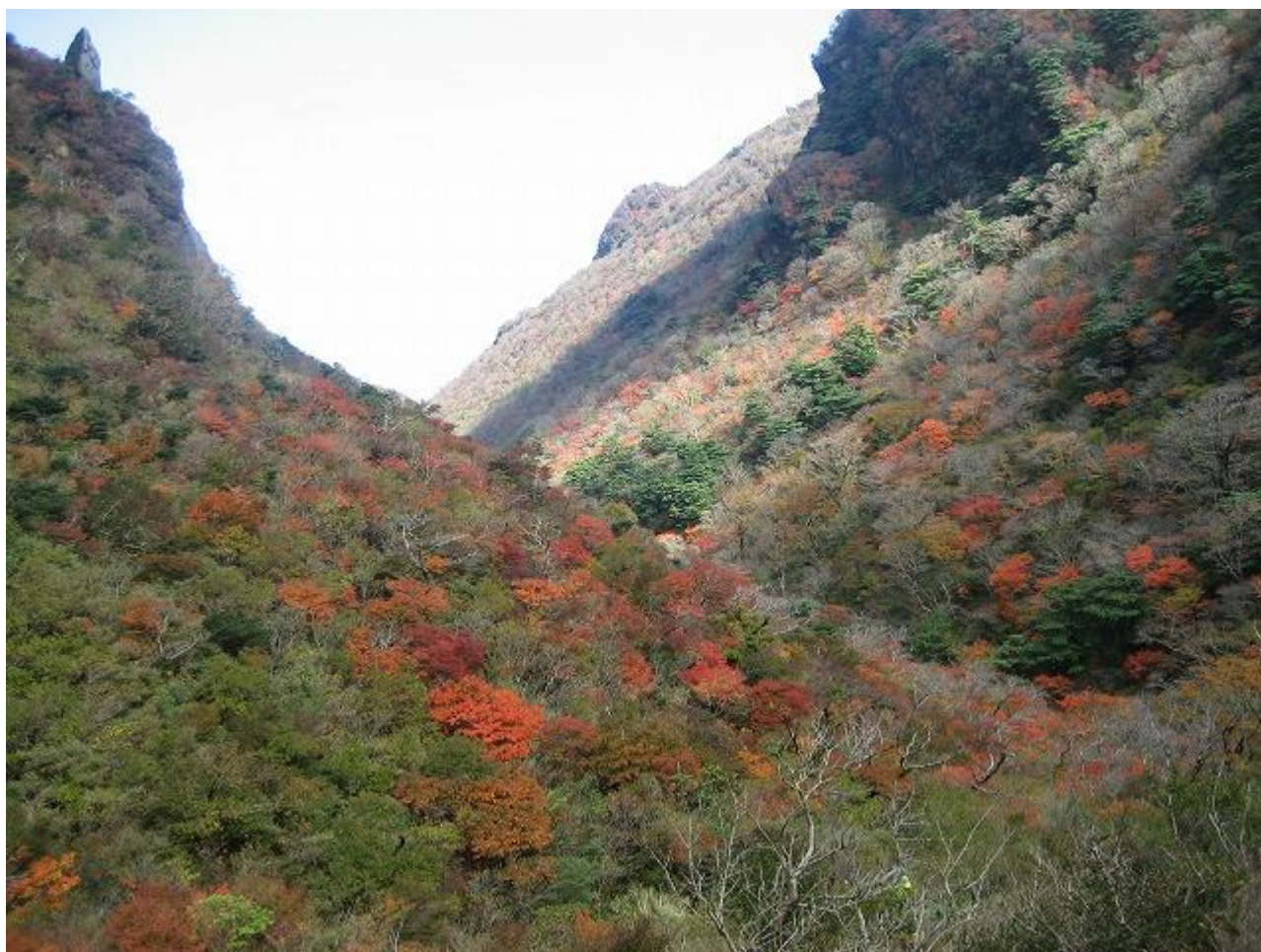


# おれんじニュース

No273

2012年12月号



10月28日 登山フェスタの日 昨夜からの雨は鬼人谷あたりでみごとにはれた。写真提供外山氏

★ 会員一人一人が運営委員です。みんなでオレンジHCの運営に参加しましょう。

| ★集会・委員会のお知らせ★ 山行の一步は集会参加から |          |         |             |        |
|----------------------------|----------|---------|-------------|--------|
|                            | 12月      | 2013年1月 | 時 間         | 場 所    |
| 運営委員会                      | 12日(水)   | 9日(水)   | 19:00~21:30 | 西諫早公民館 |
| ひまわり集会                     | 7日(金)山行時 | 11日(金)  | 13:30~15:30 | 西諫早公民館 |
| 全体集会                       | 26日(水)   | 23日(水)  | 19:00~21:30 | 西諫早公民館 |







ウメバチソウ



田代原自然観察コースにて 写真 下釜さん



リンドウ



大台ヶ原便り 写真 中須賀氏





## 12月の山行計画



| 部          | 技術研修部                  | ひまわり山行部                    | 山行部                    | 自然保護部              |
|------------|------------------------|----------------------------|------------------------|--------------------|
| 月・日        | 12/1(土)~12/2(日)        | 12/7(金)                    | 12/16(日)               | 12/19(水)           |
| 山名<br>(行事) | 霧島山系白鳥山<br>甑岳・韓国岳      | 小浜~唐比                      | 秋吉台<br>龍護山・若竹山         | 諫早小野<br>金比羅岳       |
| 地 図        | 高千穂峰・霧島温泉・韓国岳・日向小林     | 愛野・肥前小浜                    | 秋吉台                    | 諫早南部               |
| 集合場所       | 諫早駅裏 6:20<br>西諫早駅 6:30 | 諫早駅発<br>島鉄バス 8:20<br>口ノ津行き | 諫早駅裏 6:20<br>西諫早駅 6:30 | 諫早駅 8:38 発<br>島原鉄道 |
| 難易度        | ゆっくり班あり                | 初級                         | 初級                     | 初級                 |
| 帰着時間       | 19:00頃                 | 17:00頃                     | 20時                    | 16:00              |
| 歩行時間       | 4h/5h                  | 4h                         | 4h                     | 3.5h               |
| 交通手段       | マイクロバス                 | 島鉄バス                       | マイクロバス                 | 島原鉄道               |
| 宿泊施設       | 国民宿舎みやま荘               | 日帰り                        | 日帰り                    | 日帰り                |
| 温泉         | あり                     | 唐比温泉                       | あり                     | 無し                 |
| 参加費        | 15000円                 | 交通費のみ                      | 5000円                  | 交通費のみ              |
| 申込期限       | 定員になり次第                | 各自                         | 定員になり次第                | 各自                 |
| 集約         | 佐原                     | 林                          | 田中                     | 中村                 |
| 備考         | 噴火も落ち着いた霧島を歩く山行        | 秋の海岸を歩きます。                 | さわやかな草原歩きです。           | 景観のすばらしさは諫早屈指      |
| 感想文提出      | 12/12                  | 12/17                      | 12/26                  | 12/29              |



忘年会

期 日 12月10日(月)午後6:30

場 所 「一気」(いっき) (☎0957-22-5411 永昌東町13-19)

参加費 4500円 (集約 佐原)

一気にいっきに行ってみんなで  
いっきにかんぱーい!といくよ!





## 2013/1月の山行



| 部          | 山行部                                | ひまわり山行部                             | 技術研修部   | 自然保護部                                |
|------------|------------------------------------|-------------------------------------|---|--------------------------------------|
| 月・日        | 1/13(日)                            | 1/18(金)                             | 1/27(日)   | 1/30(水)                              |
| 山名<br>(行事) | 八郎岳・<br>熊が峰                        | 八十八カ所めぐ<br>り久山・津水                   | 英彦山<br>幻の滝&南岳                                     | 郡岳                                   |
| 地図         | 長崎西南部・<br>肥前高嶋                     | 諫早                                  | 英彦山   | 諫早・大村                                |
| 集合時間       | 諫早駅裏 8:00<br>西諫早駅 8:10             | 西諫早駅 8:00                           | 諫早駅裏 6:20<br>西諫早駅 6:30                            | 西諫早駅 8:00                            |
| 難易度        | やや健脚                               | 健脚な歩き                               | 健脚 or<br>ゆっくり班                                    | 初級                                   |
| 帰着時間       | 16:00                              | 16:30                               | 19:00   | 16:30                                |
| 歩行時間       | 4h~4.5h                            | 5~6h                                | 5hor3h  | 3h                                   |
| 交通手段       | マイクロバス                             | 歩き                                  | マイクロバス  | マイカー                                 |
| 宿泊施設       | 日帰り                                | 日帰り                                 | 日帰り   | 日帰り                                  |
| 温泉         | 無し                                 | 無し                                  | しゃくなげの湯   | 無し                                   |
| 参加費        | 2500円                              | 無し                                  | 5000円   | 1000円                                |
| 申込期限       | 定員になり次第                            | 随時                                  | 定員になり次第   | 定員になり次第                              |
| 集約         | 田中                                 | 林                                   | 佐原  | 中村                                   |
| 備考         | 鎮西八郎為朝に<br>由来すると言わ<br>れる展望の良い<br>山 | 身近な場所をて<br>くてく歩きま<br>す。お願いしま<br>しよ。 | 幻の滝が凍って<br>いても凍って無<br>くても初めての<br>コースはワクワク<br>ドキドキ | 多良山地の西端<br>に位置し野岳湖<br>から眺める秀麗<br>な山容 |
| 感想文提出      | 1/23                               | 1/28                                | 2/7   | 2/10                                 |

### あたらしい仲間

本田ヤス子さん  
11月からの入会です。よろしくおねが  
いします。すでに毎日御館山と一緒に  
歩かれています。



### ※ 県連登山学校

大山 冬山技術講習会 参加者募集  
日程 2013年.2月. 8日(夜)~11日  
冬山登山コース  
冬山を楽しむコース  
宿泊はビジネスホテル  
(申込み 川原まで)  
第一回打ち合わせ 11月 27日

# 2012年10月/11月の山行報告



10月13日(土)～16日(火)

## 大台ヶ原(日出ヶ岳 1695m)巡回と、奈良の古道(山の辺の道)歩き

(参加者) (CL) 中須賀 福岡 兵庫 (SL) 佐原 松園 林 森 下釜 山口  
高森 川内 (11名)

(行程) 10/13 諫早駅裏ロータリー13:20～西諫早駅 13:30～門司南港 16:15—フェリー船  
一同発 17:30～(フェリー泊)

10/14 泉大津港着 6:30～羽曳野～幣原～(169号)～(40号)～大台ヶ原駐車場 9:20—  
9:45→日出ヶ岳 10:45→正木ヶ原(昼飯) 11:45→牛石ヶ原 12:40→大蛇ぐら 13:30  
→シオカラ吊橋 14:15→大台ヶ原駐車場 15:00—山小屋(心・湯治館)泊

10/15 大台ヶ原駐車場 7:35～天理駅 9:45—9:50→石上神社 10:15→内山永久寺跡  
10:45→夜都伎神社 11:15→長岳寺 12:15(昼飯)→崇神天皇陵 13:20→桧原神社 14:35  
→大神神社 14:15—14:40 マイクロバスへ(陸路帰途へ一車中泊)

10/16～西諫早駅 5:30

(感想)

期待に胸を膨らませながらマイクロバスで門司南港へ、今まで何回もフェリーに乗った  
が今回が一番部屋がきれいで風呂も広く快適なフェリーライフを過ごすことが出来た。

14日は奈良県、三重県界の紀伊半島に横たわる台高山脈の南端に位置する百名山の  
大台ヶ原山である。

満杯の駐車場に着いた時、日曜で天気が良く紅葉の時期なので登山者が多いに違いない  
と思った。同時に駐車場辺りは紅葉が見られないが早すぎるのではないか。又、この大台ヶ  
原は年間400日雨が降るといわれており、天気予報は良いが同じく雨が多い屋久島で見事  
に裏切られたのでなおも天気が気になった。

まず、苔探勝路と呼ばれる散策路を歩き始  
めた。イトザサの中の樹木の根を幾種類もの苔  
がびっしり覆っている。約15分のコースでとて  
も気持ち良かった。平坦な道を進みコンクリ  
ートの階段のなだらかな山肌をどんどん登ると、  
白い木製階段が整備された展望テラスがあっ  
た。ここからの眺めはすばらしく熊野灘まで望むこ  
とが出来た。更に進むと展望台が備わった日出  
ヶ岳山頂である。ここからは太平洋が一望でき  
絶景のはずであったが生憎曇ってきて残念であった。



山頂から展望テラスまで戻り三叉路を南に進み木製階段を登って行く、この辺りの紅葉はま

さに今が盛りで美しい！朝の心配を払拭してくれた。正木峰のピークを過ぎ更に下って行くと、イトザサの平原に立ち枯れしたトウヒが林立するようになる。まるで白骨化した林のようだ。この風景は大台ヶ原を象徴する風景で、これは自然環境の変化や鹿の食害が原因といわれている。この辺りを正木ヶ原と言い、広場でゆっくり昼飯を摂った。

高原歩きのような平坦な道や樹林の間を進むとイトザサの絨緞を敷き詰めたような大平原、牛石ヶ原に着いた。ここには牛のような形をした牛石があり、ある高僧が妖怪を下に封じ込めたとゆう言い伝えがあるそうだ。その傍らには神武天皇像が立っておりかつてこの山には魔物が棲む山として恐れられたと言う。

そこからしばらく行くと今日一番の見所大蛇ぐらの分岐があり、狭い道をどんどん下ると大蛇ぐらに出た。不安定な大きな岩を下り更にクサリが渡されただけの岩の先端まで必死に下りて行き、断崖絶壁の絶景を見ることができ感激した。分岐まで戻った時鹿を見たが全然人を恐れず、しっかり写真のモデルになってくれた。その後も何回か鹿を見た。

分岐からシオカラ谷へと急坂を下りたが、この一帯はシャクナゲの大群落があり花の時期はさぞ美しいだろうと思った。シオカラ吊橋を渡ると急勾配の坂で長い階段を登ってやっと大台ヶ原駐車場に着いた。

今日の山行は子供を連れた家族が多かった。又、スカートやタンパンとタイトの山ガール、山ボーイも多く、山に興味や関心を持つ若者が増加することを嬉しく思った。

山小屋でゆっくり風呂に入り、ご馳走を頂き暖房のきいた部屋で眠りについた。

15日は奈良の古道、山の辺の道を天理駅から桜井駅まで散策する。今日も良い天気で夏日のように暑い。



天理駅に着いて驚いたことは天理教の総本部はもちろん高校など関連施設が威風堂々として立派なことです。そしてこの街は天理教一色で幼稚園から大学、病院などあらゆる設備があり、宗教の力を感じたことでした。

まず、最初に行ったのは石神神社、歴代の天皇崇敬が厚く神庫には多くの国宝などの武器が収められているとゆう。

次に内山永久寺跡で盛時は52坊を誇ったゆう広大な寺で後醍醐天皇が吉野遷幸の時立ち寄ったとされる。この辺りには低い柿木が実をたわわに実らせており、あちこちにある無人販売所にはかき、みかん、梅干など売っていた。ちなみに、柿を買って歩きながらかぶりついたがとても美味しかった。辺りの田んぼは稲穂が黄金色に揺れていて実りの秋ののどかな田舎の風景である。

次は夜都伎神社、春日神社の4神を祀っている萱葺き屋根が先の台風でやられ相当傷んでいた。次に弘法大師が開いたとゆう長岳寺へ、この辺で昼飯の予定であったが食べる所がなく、結局国道沿いの回転寿司屋で済ました。

満腹になり元気を取り戻した私達は崇神天皇陵へ、天皇陵としては最も古いもので全長

約 242mの前方 後円墳で周囲に濠がめぐらせてあった。次に桧原神社へ、三輪山中にある磐座を神体としているので本殿はない。天照大御神を祀っている。最後は大神社へ、背後の三輪山を御神体とするわが国最古の神社。心を込めてお参りした。

山の辺の道にはあちこちに歌碑があった。万葉集の柿本人麻呂をはじめ松尾芭蕉、川端康成、その他多くの古人の歌である。歌心がなく「馬の耳に念仏」状態の私には一句も出来ないで、以下の歌を詠んだ人がいるので紹介します。

山の辺や いのしもおる 柿の菌 [須賀山人一すがのやまびと]

柿くえば 腹もなるなり ならのみち [読人知らず]

最後に私事ですが…3月25日朝御館山歩きをするため歩道で信号待ちをされていて、路地から他の車に追突した自動車が反動で私をのぎ倒して4つの車で敷いたのです。腹部を敷かれなかったので内臓破裂がなく、首と頭がやられなかったので意識がはっきりしていたことで助かりました。「不幸中の幸い」ということで前向きになれ主治医、担当のナース、理学療法士、作業療法士に私の最終目標は「再登山」として協力してもらいました。又、御館山の仲間に励まされ、今回「山の再デビュー」を果たすことが出来ました。これからも無理はせず体力に合った登山が出来れば良いと思います。皆様お疲れ様でした。

今回計画してくださった中須賀部長ありがとうございました (川内 記)(写真 中須賀氏)

10月27日・28日

## 第12回登山フェスタ in 雲仙

(記録・感想)

(参加者) ・10/27、28日の参加

川原(27日のみの参加)、佐原、中須賀、兵庫、林、坂口、松園、山下、鎗水、中村、国分、下釜、山口、円能寺、久保(元)、久保(陽) 外(木下、外山、田中)

・10/27 (オレンジクラブ: 19名、参加者総数 計 59名)

・10/28 (オレンジクラブ: 18名、参加者総数 計 74名)

・両日実数合計 79名

場 所・島原市有明町「舞岳山荘」

10/27 曇り

14:00 受付 15:00 開会式

講演:「雲仙の四季～花・鳥との出会い」 講師: 渡辺博光先生。私は雲仙市出身で雲仙について冬は霧氷、秋は紅葉など・・・ごくごく一般的な事ぐらいしか知らなかったのですが先生の話聞いて花や鳥の知識を少しだけ広げることができました。特に雲仙の「花ぼうろ」と呼ばれる霧氷については「融かすと真っ黒な水になり3分の2は汚染されているとのこと・・・幼い頃真っ白な雪を好奇心で食べた事を思い出します。



## 17:00 夕食、入浴

楽しみにしていた夕食の時間。女性の方々が腕によりをかけて作られたすき焼き、ご飯、漬物などなど日頃玄米ということもありとても美味しくいただきました。実は今回オレンジの方々とお酒を飲みながら色々な山の話ができるのを楽しみで参加しました。初めてお会いする円能寺さん、外山さん、田中さんと主人が近い世代とわかり話が弾んでおりました。交流集会の時間になり名残惜しく移動。

## 19:00 交流集会

「伯耆大山の冬山訓練」「ブータントレッキング」のDVD上映

DVDでは鎗水さんのPCの腕もよかったせいかオレンジクラブの皆さんが映画俳優みたいに見えました。意見交換会では去年1月多良岳で雪庇を踏んで滑落した主人が「事故は注意していても起こる可能性が誰にでもある」ということや雪の上の滑りを止めることはとても困難であることを強く訴えていました。私も20歳の時、北海道のニセコスキー場の上級コースで滑り落ちるのを止めきれず転んだまま果てしなく滑って行ったことを思い出します。雪の上を滑らないような服装が必要であると言っておられましたがそんな服装があるのかなあと聞いていました。山の中では緊急の連絡は取れないのでより一層の心構えで臨む必要があると思いました。

## 21:00 宴の続き

以前山下さんはじめオレンジメンバーの方々と登山で偶然にも3回出会った事がきっかけで参加された外山さんが皆さんの為にギターでライブ演奏をしてくださいました。昭和50年代のフォークソングやヒットソングなどなど・・・若かりし頃の思い出の歌を次から次へとリクエストし皆さんと合唱。還暦ま近の男性群が「ジョニーへの伝言」のさびの部分何度か繰り返していました。過去に歌詞と同じことがあったのかなあ～と思いました。他の山岳会からリクエストがあった「酒と涙と男と女」に皆さん酔いしれていらっしやいました。まだまだ歌い続けたかったのですが、23時お開き。心残り。またいつかどこかで外山さんの演奏で歌いたいです。

## 23:00 就寝

各部屋で就寝

## 10/28 雨のち曇りのち晴れ

### 6:00 起床・朝食・行動準備

昨日の残りのすき焼きやおにぎりにお味噌汁で朝食



## 5 コースに分かれて出発

8:30 発 A班：雲仙新登山道、B班：田代原自然観察、C班：九千部登山、  
E班：牛首岩（セルフレスキューに変更）

9:00 発 D班：舞岳登山

9時5分に到着後も主人のお腹はおさまらず、第2吹越を15分遅れの9時15に出発しました。登山道はガスで景色はほとんど見えませんが、国見分れから鬼人谷でガスが消え美しい紅葉を見ることができました。その後登りが続き、西の風穴でやっと同じ班の



方々と合流できました。立岩の峰との分岐点で平成新山をバックに班の皆さんと記念撮影し11時30分に昼食をとりました。今日の気象状況が不安定にもかかわらず若い方から年配の方の登山者が多く見られました。

途中立岩の峰、霧氷沢に立ち寄り普賢岳山頂には12時23分登頂。10分休憩し12時30分に普賢岳を下山。素晴らしい紅葉を他のクラブの方々と鑑賞しました。朝は鳥の鳴き声も聞こえませんでした。14時頃鳥の鳴き声がかすかに聞こえてきたので皆さんと耳を澄まして聞きました。昨日の先生の講演を聞かなければ鳥の鳴き声も全く関心がなかったであろうなあと班の皆さんと先生に感謝しました。下山10分前に班の人が筋肉疲労で休みを取る必要がありましたが、班長の指示で一足先に下山しました。14時25分第2吹越に帰着。本来ならば閉会式に出席し非を詫びねばならぬところでしたが、知人の病院見舞いの用事を入れていた為、諫早へ帰宅。

### (まとめ)

今回長崎県勤労者山岳連盟主催の第12回登山フェスタ in 雲仙に初めて夫婦で参加させていただき有難うございました。雲仙の四季についてより深く知ることができ同クラブの会員、他クラブの会員のみなさまと顔見知りになり、楽しい登山をさせていただきました。特に27日の夜外山さんの伴奏で歌ったことは一生の思い出になりました。いろんなところで皆様に御心配、ご迷惑をおかけし、本当にお世話になりました。最後に、この登山フェスタを企画、運営され、ご苦労された方々に重ねて御礼申し上げます。(久保元治、陽子)

## 10月28日(日) 田代原の楽しい自然観察

登山フェスタ in 雲仙の「自然観察コース」へオレンジ会員6名を含め11名が参加した。昨夜の雨も上がり曇ってはいるが傘の心配もなさそうだ。今日の講師は元長崎大学教授で、現諫早自然保護協会会長の陣野信孝先生であり、同じ町内に住む顔なじみの方である。

田代原トレイルセンターから九千部岳裾の遊歩道へ入り、植林されているスギとヒノキから始まりカナクギノキ、アカマツ、タブノキ、ヤマボウシ、サザンカ、イロハカエデ、ウリハダカエデ、リョウブ、ネジキ、イヌザンショウ、シキミなど数十種におよぶ樹木の特徴や植生について説明を受けながらゆっくりと遊歩道を進む。

庭木や草花に余り興味のなかった私は、そう長くもない距離の中に、こんなにも多くの種類の樹木が自生しているのかと驚き、且つ如何に今まで登ることのみに集中して、周囲の植物に目を向けて楽しむ余裕も無い山登りばかりをしていたかを気付かされる。

アカマツはあちこちにあるが、木の根元が藪状になっているため松茸は出来ないらしい。松茸も環境を選ぶのだろうか。

タブノキは数日後に見に行く多良岳の「ヒメシャラ女王」にも似て、曲がりくねった枝をい



くつも張り出した巨木である。もし薄暗い中で出会ったらその異形にドキッと、一瞬たじろぐかも知れない。アケビの木もあるけれど実は付いていない。誰かがお先に頂戴したのだろうか。残念……………。

・木の成長過程を知るには、年輪が良く知られているが、他にも幹から枝分かれしている所の数を数え、分岐と分岐の距離で、年数と一年間の生育状態を判別することもできる。

・サルトリイバラやヘクソカズラなど「つる植物」も多くあり、吸盤のようなものから粘着液を出し、宿り主の木に巻き付き光を求めて上へ上へと伸びている。ところが熱帯のつる植物の中には宿り主の木を絞め殺すものもあるという。

・またキノコが生えると木は養分を吸い取られ、中が朽ちて倒れる。まるでシロアリに食われたようだ。そして土に帰る。キノコは「森の掃除屋」といわれるゆえんである。

等々現物を前にしての話を初めて聞き、非常に物知りになった気分である。



私達ジジ・ババ力を試すため、木は何故角形でなく丸いのか？、木に釘を打ちこんだら10年後に釘はどうなるか？、等の問題も出され、皆それぞれの知識と想像で答える。

先生も以前、木の生長状況を自分で確認するため、自宅近くの北バイパス沿いの街路樹に五寸釘を打って、その位置や変化を調べようとした。もちろん住所氏名、調査目的を付していたのだが、取り除くように電話があり、

調査は実現しなかった失敗談も披露された。

牧草地に入ると、いたるところにウメバチソウが群生しており、リンドウ、アキノキリンソウ、センニンソウ、キンポウゲと昨夜DVDで見た花の実物も堪能できた。

後期高齢者に達した山ボーイにとって、ピークハントのみでなくこのようなユックリと自然を楽しむ「優雅？」な山行も、またいいものである。

先生の博識と巧みな話術により、時間のたつのも忘れるほど、楽しく自然観察の学習をすることができました。ありがとうございました。なお数日前にもわざわざ下見をして下さった先生に心から感謝！感謝！（兵庫 記）（文中写真提供 下釜さん）



11月4日(日)

### 大野岳・外海町歴史道探訪

(参加者) 川原、松園、佐原、川内、森、金丸(直)、山口、中村、松岡、兵庫、山下(ち)  
田中(紘)、林、高森、小山、山下(茂) 子ども3人 (19名)

(行程) 8:00諫早駅ローリ～8:10西諫早駅—多良見—時津—9:40遠藤周作文学館10:20—10:30  
ド・ロ神父記念館(外海歴史民俗資料館) 11:25—11:30出津教会11:40—11:45大野教会11:  
48—12:00大野岳12:50—13:10バスチャン隠れ家13:30—13:40外海道の駅—14:20—14:40枯  
れ松神社15:00—三重—琴海—時津—諫早着17:00

(感想) 外海行の感想文をとのことで筆を執りました。

私にとって、一番印象に残ったのは遠藤周作文学館です。学生の頃「狐狸庵」シリーズを面白く読んでいたのですが、小説は一冊も読んでなかったので取り敢えず「海と毒薬」を外海に行く前に読んでみました。そして文学館で作家略歴等を見て「なるほど、生死を彷徨う大病に遇ってこういう作品が生まれたんだなあ」と納得しました。



ここまでは普通の感想だったのですがその後色々史跡を巡りながら山下さんのご主人のすこぶる血の通った、一日程の時間も逸脱(失礼)じゃなくて超越した熱い熱い非常に熱いガイドダンスを受けて(今だに「あまりにも何も無い貧しさ、まずこれを感じて分かって下さい」という山下氏の声が鮮明に耳に残っております。)多分その影響で諫早に帰って早速「沈黙」を読みました。

読みながらまるで目の前に「祈りの岩」の窪みに数人の信者が俯いて跪づいて、一心に祈りを捧げる姿が浮かび上がりました。一気に読み終わった後、信者への拷問、踏み絵の強要、転び、改宗、後悔、懺悔、苦悩する様が脳裏に交錯してどっと疲れました。

疲れはしましたが何か遠い昔に置き忘れた感性に久しぶりに会った様な不思議な気持ちになりました。

疲れはしましたが何か遠い昔に置き忘れた感性に久しぶりに会った様な不思議な気持ちになりました。





また、今度、いつか晴れた日に夕日を見に行きたいなという気持ちが湧きあがりました。  
—誰かの様に涙は無理かもしれませんが。

今回は本当に心のこもった案内ありがとうございました。重ねて厚く御礼申し上げます。  
(松岡 記)

11月6日(火)

### 矢上普賢岳・行仙岳

(参加者) 兵庫、中里、円能寺、山下、林田、中村、星子、田村 (8名)

(感想) 朝、自宅を出る時は良い天気だったが矢上バス停で下車したら雨具を身につける程の雨が降っていた。登山口近くのスーパーで円能寺さんと合流し、雨具をつけて歩きだしたら目前にどっしりした普賢岳がそびえていた。

鳥居をくぐると頂上までの1809段ある石段の始まりである。登っている途中、流石に信仰の山だけに神仏にまつわる名称や彫刻、石像が多い。

しばらく登ると普賢神社本社殿に着く。頂上まではあとひと息らしい。石段を登りつづけ弘法大師像の立つ頂上直下の展望所に出る。

この頃になると天気も回復して眼下に橘湾に浮かぶ島々が見えた。残りの石段を登りきると普賢岳山頂である。山頂は木々が茂り展望は良くないが地蔵菩薩像が静かに私たちを迎えてくれた。



ここで昼食を取り、行仙岳へ向かった。樹林の中、尾根伝いに歩き林の中に三角点の標石があった。展望は全くなかった。ここから普賢岳にもどり下山した。途中大蔵神に寄りお参りし普賢岳を後にし、矢上で八十八カ所札所の71番～73番札所も回ってお参りできた。今回の企画で長崎に40年近く住んでるのに始めて普賢岳に登れてとても感激しました。本当にお世話になりました。

(田村 記)





雲仙マユミの実  
写真提供 外山氏



登山フェスタ 舞岳コース 8888 段の階段を登る







鬼人谷からの紅葉風景 2 点。写真提供田中氏



ウメバチソウの群生写真提供下釜さん



|                      |   |
|----------------------|---|
| おれんじニュースNo273        |   |
| 発行元                  | オレンジハイキングクラブ  |
| 発行責任者                | 福岡正廣  |
| 編集責任者<br>及び<br>原稿送付先 | 山下ちず子   |
| 発行年月日                | 2012. 11. 21  |
| 財政担当                 |   |
| 郵便振替口座               |   |
| ホームページ               | <a href="http://orangehikingclub.web.fc2.com/">http://orangehikingclub.web.fc2.com/</a> |

今回もいろんな方達に助けられておれんじニュースを発行することが出来ました。今回は特に写真を皆さんに助けられました。色んな景色や花の写真を提供して下さいました。ありがとうございました。  
(\*^\_^\*) 山下